

授業科目名(英文名)	環境情報学特別研究(福島 学)2015 年度 前期入学生用 (Environmental Information Engineering Studies)
担 当 者 名	福島 学
学 年	1
教 科 書	
目的または到達目標	<p>社会に貢献しうるエンジニアとなるため、単に知識を詰め込むのではなく「自らを社会で活かすための総合的なスキル」を、社会での活動を模した特別研究を通して習得することを目的とする。</p> <p>このため、多くの企業で掲げている「自律」「自立」「自走」を行うために必要な事柄とその実施方法について学び、自分なりの方法を見つけるための試行と評価が適切に行えるようになることを目標とする。</p>
授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにより背景知識を見極め必要な理論的理解を行う能力を習得する。</li> <li>・研究として定められた期間内に成果を出すための             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)計画</li> <li>2)実施</li> <li>3)評価</li> </ol> </li> <li>と             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)要求分析</li> <li>2)設計</li> <li>3)実施</li> </ol> </li> </ul> <p>を行い、それらの必要性を理解し、成果に結びつけること、ならびに成果を文書化し、エンジニアとして必要最低限度のドキュメントコミュニケーションスキルを習得する。</p>
関 連 科 目	
受 講 心 得	論理的な思考力に裏づけられた実行力と評価力が必要となります。研究ゼミナールおよび卒業研究を通して「学部卒業」として習得されたスキルが基礎となります。
課 題・質 問 等 の 受 付 方 法	
授 業 の 形 式	テーマにより適時指示します。
履 修 上 の 注 意 または 履 修 条 件	
成 績 評 価 の 方 法	取り組みおよび各プロセスでの成果物等より総合的に評価します。
参 考 文 献 及 び 指 定 図 書	